



『違う国の人と触れ合いながら外国語に慣れ親しみ、友達と仲良くする子どもを目指す。』

幼児センターでは、「幼児教育において育みたい3つの資質・能力」及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の具現化を目指して、5領域を適切かつ、具体的に編成した教育課程を基に4歳児、5歳児が「Globe年間授業計画」としてカリキュラムを作成し実践に取り組んでいる。カリキュラムについては、新年度に向けてALTと打ち合わせをし全体的な内容と単語を確認し作成している。カリキュラムを基に活動の前に、詳細なactivityやdemonstration等の方法を打ち合わせし、実施している。



【4歳児・1年次】

ALTがクラスに1名ずつ入り、保育活動（制作・運動・給食・遊び絵本の読み聞かせなど）に参加し子どもたちと交流する。

成果

- *一緒に遊べるのが楽しく、月一回ALTの先生が来てくれることを楽しみにするようになった。
- *初めて英語に触れた児が、英語に興味を持ち始め、家庭でもアルファベットを書いたり、ALTに手紙を書いたりする児がいた。
- *積み重ねていくことで、絵本の時間のALTへの反応がだんだん大きくなっていった。



課題

- *絵本の内容が難しいことがあった。保育者も一緒に選ぶなどすればよかった。
- *自由遊びの中での交流は、積極的に関わりに行く児は限られてしまい、ALTとの関わりが少ない児もいた。全体で関わられるような活動を考えていく必要がある。

【5歳児・2年次】

ALT2名がメインで1クラスずつ活動を進め、挨拶、色、食べ物、動物、天気、動きなど身近な単語からゲームや会話に繋げている。クラス担任はサポートとして英語を日本語でフォローしながら進めている。

成果

- *ALTとクラス担任が必要に応じて話し合うことで、年長児の実態に合わせて無理なく活動を進めることができた。
- *天気、色、気分等、身近な英単語に触れることで、生活の中でも子ども達から自然と単語が聞かれた。
- *毎回、後半にゲームを行ったことで、期待感を持ちながら活動に参加できた。



課題

- *発声しにくい英単語は、自信がなく声が小さくなってしまふ。子ども達にとって発声しにくい英単語は保育者も同様で、大きな声でサポートができない。事前に発音についても確認しておく良かった。
- *発声と動作を同時に行うと、一方しかできない姿もあった。英単語がしっかり理解できるよう、自信のない英単語も日常の中に取り入れていくと良い。

